

肌<sup>め</sup>理<sup>め</sup>と

アモルファス

遠藤章子展

BankART under:35

2019.11.29 fri — 12.22 sun

会場 | BankART SILK (横浜市中区山下町1 シルクセンター内1F)

時間 | 11:00-19:00 入場料 | 無料



主催 | BankART1929 共催 | 横浜市中区文化観光局 協力 | ギャラリーバー

# 肌理とアモルファス

## 遠藤章子展

ガラスは「固体」ではない。固体とは、分子が規則正しく並んだ構造をとる結晶のこと。しかし、ガラスの内部は分子がランダムにつまった構造であり、実は「動きが凍結した液体」なのだ。

遠藤章子氏の初期のガラス作品はガラスが本来もつこうしたアモルファス構造の自由さを想起するものではない。むしろ、ミニマルな形態とデリケートな角の処理や穏やかな表面処理によって見る人の襟を直し、やさしい気持ちにさせる。制御された丁寧な技法は肌理の細かい静謐な表情を生み出している。

最近、その表現が大きな変化を見せている。有機的で触覚的な表現へと移行しているのだ。ガラス作品を「みる」という対象から、「手でもち、触れる」こと、すなわち温度や肌(肌理)を感じさせる存在へと変換させている。遠藤氏は、もともと用の伴う工芸的な作家ではないが、ここに来て「ふれる」という、ある意味では「用のある」表現へと変わってきている。身体的な感覚を援用しながら、ガラスの本質であるアモルファス構造を封じ込め、個体と液体を往来する「動きが凍結した液体」に近づこうとしているのかもしれない。今回はunder35シリーズ第二弾として、初期作品からミニマルな作品、記憶や身体感覚をモチーフにした最近の作品など、これまでの作品が一堂に会した展覧会を開催する。



《街》2011



《小さい手》2019



《ふれるかたち-うつつわ》2019



《空白のかたまり-深度》2011

### 遠藤章子/Shoko Endo

1985 新潟県三条市生まれ。茨城県在住。

2008 筑波大学芸術専門学群卒業。

2012 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻クラフト領域修了

#### 【個展】

2011 「空白のかたまり」(Cafe et Galerie Moineau)

2012 「あるかたち」(Cafe et Galerie Moineau)

2013 「かたまりのガラス 遠藤章子ガラス展」(筑波大学アートギャラリーT+)

2014 「満ちること」(GALLERY RUEVENT)

「遠藤章子 ガラス作品展-ある場所-」(プリズムプラス)

2019 「ふれるかたち」(ギャラリーLIBRE)

#### 【主なグループ展】

2013 「かたちのないかたち」遠藤章子・柵瀬茉莉子(Galerie PARIS)

2015 「輪郭のゆくえ - 岩佐徹・遠藤章子 -」(Galerie PARIS)等

### BankART under35

#### 遠藤章子展〜肌理とアモルファス

開催日時 | 2019年11月29日[金]~12月22日[日] 11:00~19:00

開催場所 | BankART SILK (横浜市中区山下町1シルクセンター内1F)

入場料 | 無料

作品集 | A5版/80p/テキスト:金子賢治(茨城県陶芸美術館長)

オープニング | 2019年12月6日[金] 18:30~20:00

主催 | BankART1929 共催 | 横浜市文化観光局 協力 | ギャラリーパリ



お問い合わせ | BankART 1929 office

TEL: 045-663-2812 E-mail: info@bankart1929.com

アクセス | BankART SILK (〒231-0023 横浜市中区山下町1シルクセンター1F)

みなとみらい線「日本大通り駅」1出口徒歩3分